

沿革

1999年 3月	ソフトバンク(株)の純粋持株会社化に伴う事業再編成を受けて、ソフトバンク(株)管理本部がソフトバンク・ファイナンス(株)として独立。金融関連分野における事業活動を統括する事業持株会社となる。		
7月	ベンチャーズ・インキュベーション事業を行う事を目的として、ソフトバンク・インベストメント(株)(現SBIホールディングス株式会社、以下「SBI」)を設立。	2004年 10月	ベリトランス(株)(現SBIベリトランス(株))が大証ヘラクレス市場に上場。
2000年 6月	モーニングスター(株)がナスダック・ジャパン市場(現:大証ヘラクレス)に上場。	11月	イー・トレード証券(株)(現SBIイー・トレード証券(株))がJASDAQ市場に上場。
9月	イー・トレード(株)(現SBIホールディングス(株))がナスダック・ジャパン市場(現:大証ヘラクレス)に上場。	2005年 3月	公募増資によりソフトバンク(株)の持株比率が低下し、ソフトバンク(株)の連結子会社から持分法適用関連会社に変更。
12月	SBIがナスダック・ジャパン市場(現:大証ヘラクレス)に上場。	7月	ソフトバンク・インベストメント(株)からSBIホールディングス(株)に商号変更。会社分割により、アセットマネジメント事業をソフトバンク・インベストメント(株)(旧SBIベンチャーズ(株))に移管し、持株会社体制へ移行。
2001年 8月	ソフトバンク・フロンティア証券(株)(ワールド日栄証券と合併後、SBI証券(株)に商号変更)がナスダック・ジャパン市場(現:大証ヘラクレス)に上場。	2006年 3月	SBIホールディングス(株)がSBIパートナーズ(株)及びファイナンス・オール(株)を合併。株式交換によりSBI証券(株)を完全子会社化。
2002年 2月	SBIが東京証券取引所市場第一部に上場。	5月	SBIフューチャーズ(株)が大証ヘラクレス市場に上場。
11月	SBIが大阪証券取引所市場第一部に上場。	8月	モーニングスター(株)の子会社であるゴメス・コンサルティング(株)が大証ヘラクレス市場に上場。 主要株主であるソフトバンク(株)の子会社がSBIホールディングス(株)の全株式を売却したことにより、ソフトバンク(株)の持分法適用関連会社より除外となる。
2003年 6月	SBIがイー・トレード(株)(現SBIホールディングス(株))と合併し、事業持株会社としてイー・トレード証券(株)他を子会社とする。以後、SBIを中核会社とする事業再編を加速。	2007年 2月	SBIイー・トレード証券(株)の韓国における子会社E*TRADE・Korea Co., Ltd.が韓国取引所のKOSDAQ市場に上場。
9月	ファイナンス・オール(株)が大証ヘラクレス市場に上場。		
10月	ワールド日栄証券(株)(現SBI証券(株))を買収し、子会社とする。		